

事務事業名		老人保健運営事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	長寿医療係	担当課長名	片柳 利幸		
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	4 後期高齢者医療制度の円滑な運営				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	5156	一般	3	1	3	老人保健運営事業					
	事業区分	任意的事業・義務的事業		義務的事業			義務的事業				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	平成24年度～32年度		根拠法令 条例等	老人保健法、健康保険法					
	実施方法		直営								
	事業分類		現金・現物給付事業								
リーディングプロジェクト		該当なし									
市長マニフェスト		該当なし									

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
○ 平成20年3月までの老人保健制度時における、病院の診療報酬誤謬による返還金の納付を求める。 ○ 返還金を受領後、社会保険診療報酬支払基金・国・県へ返還金を支払う。	平成23年度に診療報酬誤謬に伴う返還金が佐野市へ納付され、平成24年度に佐野市から社会保険診療報酬支払基金及び国・県へ返還金を納付するため事業が開始された。平成25年度は該当がなかったが、平成26年度から新たに佐野市へ返還金を納付することとなったものがあつた。(平成32年度に佐野市から支払基金等へ返還金を納付するまで継続予定。)					
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)
老人保健返還金	円	0	0	1,380,000		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

○ 診療報酬に誤りがあつた医療機関を対象とする。	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	対象となる医療機関数	機関	0	0	2		

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

○ 診療報酬に誤りがあつた医療機関の更生を図るものである。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	更生を図る医療機関数	機関	0	0	2		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

75歳以上の高齢者が、健康づくりと疾病予防ができるとともに、安心して医療を受けられる。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	後期高齢者医療保険料収納率	%	99.6	99.6	99.4	99.4	99.4
	後期高齢者健康診査受診率	%	15.7	16.5	16.0	17.0	18.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円			1,380			
	事業費計(A)	千円	0	0	1,380	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			償還金、利子及び割引料	0	償還金、利子及び割引料	0	償還金、利子及び割引料	1,380
	人件費	人	0	0	1			
のべ業務時間	時間	0	0	10				
人件費計(B)	千円	0	0	39	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	1,419	0	0		

事務事業名	老人保健運営事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	長寿医療係
-------	----------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和58年4月事業開始された老人保健制度(特別会計)は平成20年3月末で廃止されたが、その際に発生した診療報酬の誤謬による返還金が生じた。そこで、平成24年度、一般会計により事業を再度開始するに至った。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	医療制度改革により、平成20年3月末で老人保健法が廃止され、同年4月1日から後期高齢者医療制度へ移行となったが、医療機関に社会保険診療報酬支払基金・国・県へ返還金が残っており、市を通じた早急な回収・支払が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	現在まで、特にはない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 老人保健制度における残務処理事務であり、返還金を完了することで事業を完結するものであるために結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 平成20年3月末で老人保健法は廃止となったが、診療報酬の返還金に対応するための残余事務が残っていたことから実施に至った事業、また、市の役割が義務付けられているためである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 対象と意図は適っており、至当である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 平成20年度末に老人保健法が廃止され、残余事務のみとなっていたため、今後の成果向上余地とは、医療機関が返還するよう連絡調整する点だけに限られている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 最少の人件費で事務を執行している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
平成32年度に返還金を佐野市から支払基金等へ納付すると事業終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			